エコアクション21
環境経営レポート

活動期間：2023年4月～2024年3月

株式会社　戸高製作所

TODAKA

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号0013790

発効日：2024年　6月　12日〔第3版〕

目次

題目	ページ数
1・ 環境経営方針	3
2・ 組織の概要	4
3・ 実施体制	5
4・ 役割と責任及び権限	6
5・ 中期環境経営目標	7
6・ 環境経営計画の事業部ごとの取組と評価	
・加工事業部　加工課	8
・FA事業部	9
・船舶事業部	10
・加工事業部　生産課	11
7・ 環境経営目標の実績と評価　及び次年度の取組	12
8・ 環境関連法規などの取りまとめと遵守評価記録	16
9・ 代表者による全体の評価見直し記録	17
10・ 中期環境経営目標の見直し	18
11・ 環境経営活動の取組	19
12・ 緊急事態対応訓練	22

１．環境経営方針

基本理念

株式会社戸髙製作所は、
金属部品精密加工・自動機設計製作・船舶機器開発の三事業を通し、
日本国内ものづくりの礎となることを誓い、
その生産活動において自主的、積極的に、環境への取組みを推進することにより
持続可能な社会の構築を目指します。

行動指針

１．次の項目を重点項目として継続して取り組みます。
（１）電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、
二酸化炭素排出量の削減に取組みます。
（２）廃棄物排出量の削減に取組むとともに、リサイクル促進に努めます。
（３）水を大切にして、水使用量の削減に取組みます。
（４）化学物質使用量の削減、適切な管理に努めます。
（５）開発及び生産工程見直し・改善により　生産効率向上に取組みます。

２．当社の事業経営に関する環境関連法規等を遵守いたします。

３．環境経営レポートの定期発行により、環境情報を公開するとともに、
地域貢献活動を推進します。

４．環境経営システムの継続的改善に取り組んで参ります。

制定日　２０２２年６月３日

株式会社　戸髙製作所
代表取締役　　赤坂武義

2.　組織の概容

①名称及び代表者

会社名：　株式会社　戸髙製作所
代表者：　代表取締役　　赤坂　武義
設立　：　1970年1月19日
資本金：　4,000万円

②所在地

（本社･工場）　大分市青崎1丁目3番21号

③環境管理責任者及び担当者（事務局）　　電話：097-521-1379（代表）

環境管理責任者　　取締役統括部長　　金丸　聡
事務局　　加工事業部　　熊谷隆徳

④事業内容

精密部品加工　，　半導体製造装置･省力化装置の開発･設計･製造･販売及びサービス　，　船舶用電子機器の開発･製造･販売及びサービス

⑤事業規模

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	万円	87,612	87,515	120,044
従業員数	人	50	53	54
床面積	㎡	2145.9	2145.9	2145.9

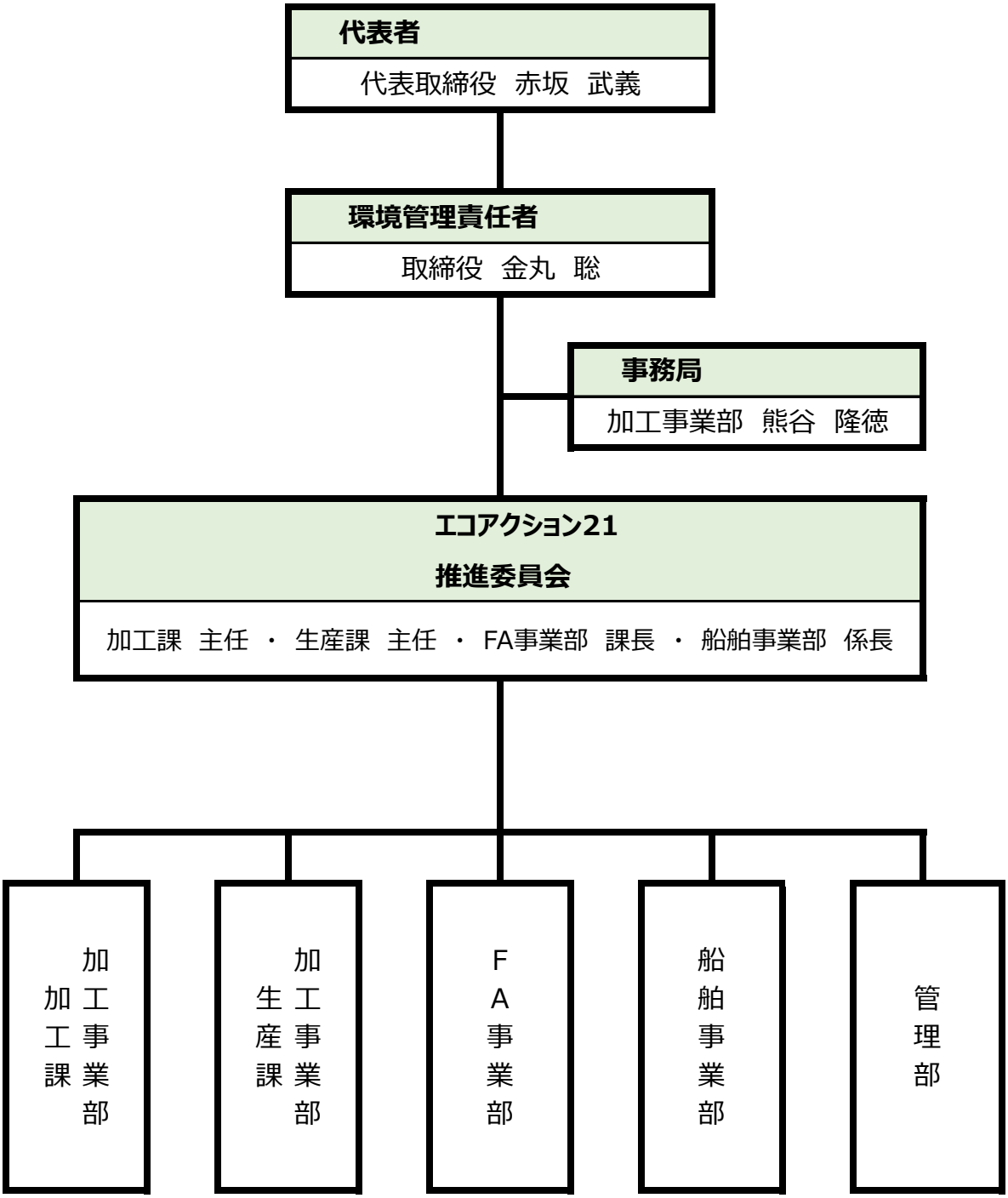
⑥事業年度

【期首】4月1日　～　【期末】翌年3月31日

⑦対象範囲

全組織、全活動

3.　エコアクション21実施体制



4.　役割と責任及び権限

担当	役割　・　責任
代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境方針を定める ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局	・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境経営活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成
エコアクション21 推進委員会	・環境経営目標、環境経営計画の伝達 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境経営活動に関する意見交換 ・自部門における環境経営活動の実施 ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する ・推進委員は各部門長より活動を委託され、相互合意のもと活動を行う。
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

5. 中期環境経営目標

各年度対象期間：期首4月 ～ 期末翌年3月末

取り組み年度

No.		環境目標	基準年度 (2021年度実績値)	2022年度 目標値 / 基準年度比	2023年度 目標値 / 基準年度比	2024年度 目標値 / 基準年度比
1		二酸化炭素排出量 削減 単位kg-ＣＯ2	402,662	400,649	398,636	396,622
				△0.5%	△1.0%	△1.5%
	1-1	電力消費量 削減 単位：kWh	801,118	797,112	793,107	789,101
				△0.5%	△1.0%	△1.5%
	1-2	ガソリン消費量 削減 単位：ℓ	6,692	6,659	6,625	6,592
				△0.5%	△1.0%	△1.5%
2	2-1	一般廃棄物排出量 削減 単位：kg	1,080	1,069	1,058	1,048
				△1.0%	△2.0%	△3.0%
	2-2	産業廃棄物排出量 削減 単位：kg	31,705	31,388	31,071	30,754
				△1.0%	△2.0%	△3.0%
3		水使用量 削減 単位：㎥	330	328	327	325
				△0.5%	△1.0%	△1.5%

4	生産効率向上による環境への効果	・新たな開発や生産工程見直しによる時短に取り組み、電力消費量を抑制する。
5	品質不具合削減による環境への効果	・打合せ、段取りをしっかり行い、不具合削減に努める。 ・ロスを削減する事により、再製作時の電力消費量を抑制する。

※ CO2排出係数は 九州電力2020年度 0.479kg-CO2/kWh （調整後排出係数）

※ 軽油とLPGについては使用量が少ないので目標に設定せず日常管理に努めて参りますが、CO2排出量の合計の項目には含めます。

6.　環境経営計画の事業部ごとの取組と評価（1）

部署名：　**加工事業部　加工課**

取組結果基準：　○できた　△一部できた　×できなかった

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動	頻度	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力消費量の削減	昼休み、不在時の消灯	毎日	○
			帰宅前のＰＣの電源オフ	毎日	○
			帰宅前の機械電源断、電源オフ	毎日	△
			エアコンフィルターの定期清掃	毎月	△
			気温の状態により、エアコンの温度調整	毎日	○
			気温の状態により、エアコン稼働台数の管理	毎日	○
			その日使用しない機械の電源オフ	毎日	△
			エアコンプレッサーのフィルター清掃	毎週	○
	1-2	ガソリン消費量の削減	—		
			—		
			—		
			—		
廃棄物排出量削減	2-1	一般廃棄物排出量の削減	リサイクルボックスの活用	毎日	○
			裏紙使用の推進（チェックシートなど）	毎日	△
			—		
			—		
	2-2	産業廃棄物排出量の削減	リサイクルボックスの活用	毎日	○
			金属廃棄物はバラしてリサイクル可能な様分ける	毎日	○
			—		
			—		
3		水使用量の削減	現場、お手洗いに節水ステッカーの設置	7月	○
			水使用量の定期検査	毎月	○
			—		
			—		
4		生産効率向上による環境への効果	加工方法見直しによる、加工時間削減	毎日	△
			中抜き品など、外形寸法の縮小提案	毎日	△
			加工能力、効率の高い工具や砥石の検討	毎日	△
			加工部署変更などによる、加工の高効率化提案	毎日	○
5		品質不具合削減による環境への効果	不具合傾向、集計による見える化	毎日	○
			各工程間での不具合品についてのミーティング	毎週	△
			加工者各自のミス傾向の把握見直し	毎月	○
			—		

頻度：日を決めて行うものには、毎日や毎週といった行う頻度を記入して下さい。

責任者：各具体的行動には責任者を決定してください。

結果：責任者は結果をエコアクション推進委員に報告し推進委員はこの表に記入して下さい。
その際には結果の評価も行い、指摘や助言などを行ってください。

6.　環境経営計画の事業部ごとの取組と評価（2）

部署名：　**FA事業部**

取組結果基準：　○できた　△一部できた　×できなかった

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動	頻度	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力消費量の削減	昼休みの消灯	毎日	○
			冷暖房の設定温度厳守	毎日	○
			PCおよびプリンタの退社時の電源オフ	毎日	△
			エアコンフィルターの定期的清掃	毎月	○
			―		
			―		
			―		
			―		
	1-2	ガソリン消費量の削減	エコドライブの推進	毎週	○
			燃費のチェック	毎月	○
			車両点検の実施（タイヤの空気圧チェックなど）	奇数月	○
			―		
廃棄物排出量削減	2-1	一般廃棄物排出量の削減	裏紙使用の推進	毎日	○
			ゴミの分別の徹底	毎週	○
			―		
			―		
	2-2	産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の分別	毎日	○
			リサイクル推進（廃棄予定ネジ回収BOXの整理）	毎月	○
			―		
			―		
3		水使用量の削減	蛇口を大きく開かない（給湯室、食堂）	毎日	○
			蛇口をきちっと閉める（給湯室、食堂）	毎日	○
			水漏れチェック（水道メータ確認）2022年12月	毎月	○
			―		
4		生産効率向上による環境への効果	開発時のDRの実施	都度	○
			治工具の点検整備	毎週	○
			―		
			―		
5		品質不具合削減による環境への効果	開発時のDRの推進	都度	○
			チェックシート利用の推進	都度	○
			―		
			―		

頻度：日を決めて行うものには、毎日や毎週といった行う頻度を記入して下さい。

責任者：各具体的行動には責任者を決定してください。

結果：責任者は結果をエコアクション推進委員に報告し推進委員はこの表に記入して下さい。
その際には結果の評価も行い、指摘や助言などを行ってください。

6.　環境経営計画の事業部ごとの取組と評価（3）

部署名：　**船舶事業部**

取組結果基準：　○できた　△一部できた　×できなかった

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動	頻度	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力消費量の削減	昼休み、長時間不在時の消灯	毎日	○
			長時間不使用時のPC、モニター電源OFF	毎日	○
			エアコンフィルターの清掃	2カ月	△
			サーキュレーターの活用	毎日	○
			ブラインドによる遮光	毎日	○
			中間期（真夏、真冬以外）の外気取り入れ	毎日	○
			服装による温度調節（寒い日に着込む等）	毎日	○
			—		
	1-2	ガソリン消費量の削減	車両点検（タイヤ空気圧など）	毎月	○
			エコドライブの励行(急加速、急発進などしない)		△
			燃費チェック	毎月	○
			ハイブリッド、軽自動車の優先利用		○
廃棄物排出量削減	2-1	一般廃棄物排出量の削減	ペーパーレス化の励行	毎日	○
			裏紙使用の励行	毎日	○
			ゴミの分別	毎日	○
			—		
	2-2	産業廃棄物排出量の削減	在庫の管理		○
			ゴミの分別	毎日	○
			—		
			—		
3		水使用量の削減	蛇口を大きく開かない（給湯室、食堂）	毎日	○
			蛇口をきちっと閉める（給湯室、食堂）	毎日	○
			水漏れチェック（水道メータ確認）	偶数月	○
			—		
4		生産効率向上による環境への効果	開発時のDRの実施		○
			治工具の拡充		○
			治工具の点検整備		△
			手順書活用		○
5		品質不具合削減による環境への効果	開発時のDRの推進		△
			チェックシート利用の推進		×
			手順書活用		△
			—		

頻度：日を決めて行うものには、毎日や毎週といった行う頻度を記入して下さい。

責任者：各具体的行動には責任者を決定してください。

結果：責任者は結果をエコアクション推進委員に報告し推進委員はこの表に記入して下さい。
その際には結果の評価も行い、指摘や助言などを行ってください。

6.　環境経営計画の事業部ごとの取組と評価（4）

部署名：　**加工事業部　生産課**

取組結果基準：　○できた　　△一部できた　　×できなかった

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動	頻度	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力消費量の削減	昼休み、不在時の消灯	毎日	○
			PC退社時の電源オフ	毎日	○
			冷房室温の設定　冬23℃　夏26℃	毎日	△
			エアコンフィルターの掃除	月1	△
			冬季以外の給湯の停止	毎日	○
			ブラインドを活用し遮光する	毎日	○
			サーキュレーターの活用	毎日	○
			換気による外気の取り入れ	毎日	○
	1-2	ガソリン消費量の削減	点検（空気圧など）	偶数月	○
			エコドライブの励行	毎日	○
			燃費チェック（月1）	月1	○
			―		
廃棄物排出量削減	2-1	一般廃棄物排出量の削減	使い捨て製品の購入の抑制	毎日	○
			社内情報のペーパーレス化	毎日	△
			裏紙使用の推進	毎日	○
			ゴミの分別の徹底	毎日	○
	2-2	産業廃棄物排出量の削減	―		
			―		
			―		
			―		
3		水使用量の削減	蛇口を大きく開かない	毎日	○
			手洗い後蛇口をしっかりしめる	毎日	○
			―		
			―		
4		生産効率向上による環境への効果	材料寸法指示ミスを無くす為の対策の徹底	都度	○
			―		
			―		
			―		
5		品質不具合削減による環境への効果	―		
			―		
			―		
			―		

頻度：日を決めて行うものには、毎日や毎週といった行う頻度を記入して下さい。

責任者：各具体的行動には責任者を決定してください。

結果：責任者は結果をエコアクション推進委員に報告し推進委員はこの表に記入して下さい。
その際には結果の評価も行い、指摘や助言などを行ってください。

7. 環境経営目標の実績と評価　次年度の取組（1）

実施期間（2023年4月～2024年3月）

は達成　　は未達

評価基準：○100%以上　△90%以上100%未満　×90%未満

No.		環境目標	2021年度 実績値 基準年度	2023年度 目標値	2023年度 基準年度比	2023年度 実績	達成率	評価
1		**二酸化炭素排出量の削減** 単位：kg-ＣＯ2	402,662	398,636	△1.0%	398,803	100.0%	○
		評価と 次年度の取り組み内容	達成率で100%の結果でありました。 二酸化炭素排出量の9割以上の割合を占める電力量を抑えた結果であります。 次年度も電力量には注視をし、より良い効率での設備稼働に努めて参ります。					
	1-1	**電力消費量削減** 単位：kWh	801,118	793,107	△1.0%	795,150	99.7%	△
		評価と 次年度の取り組み内容	達成率で99.7%とあと一息の結果ではありました。 しかし今年度は、生産増強に伴う工作機械の増設、クリーンルームの稼働開始といった条件があったにも関わらず、エアコンや照明設備など他の部分で削減努力を行い、あと少しの結果であったことは全員の努力の賜物であります。 次年度についても、使用する設備の時間シフトや未使用時の電源オフ管理の徹底に引き続き取り組んで参ります。					
	1-2	**ガソリン消費量削減** 単位：ℓ	6,692	6,625	△1.0%	6,345	104.4%	○
		評価と 次年度の取り組み内容	基準年度比約300ℓの削減と良い結果となりました。 ハイブリッド車の導入、エコドライブの推進によって良い結果を得る事ができました。 次年度もエコドライブの推進を行い、ガソリン消費量及び燃費についてもチェックを行っていき、見た目で監視して削減できるよう努めて参ります。					

2	2-1	**一般廃棄物排出量削減** 単位：kg	1,080	1,058	△2.0%	1,058	100.0%	○
		評価と 次年度の取り組み内容	当初計画通りの削減幅となり、順調な結果でありました。 次年度の取り組みとして、ペーパーレス化推進を図るべく図面関係で配布用で使用している紙を電子化の検討を行います。 分別強化の為,表示の設置を行います。					
	2-2	**産業廃棄物排出量削減** 単位：kg	31,705	31,071	△2.0%	19,532	159.1%	○
		評価と 次年度の取り組み内容	リサイクルの促進が大いに進んだ年でありました。 金属として買取り可能なものは解体分別をしっかり行い資源として活用する心が芽生えたと感じます。 次年度も資源の有効活用を念頭に、分別を行うと共に必要部署での再活用など取り組んで参ります。					

7.　環境経営目標の実績と評価　次年度の取組（2）

実施期間（2023年4月～2024年3月）

は達成　　は未達

評価基準：○100%以上　△90%以上100%未満　×90%未満

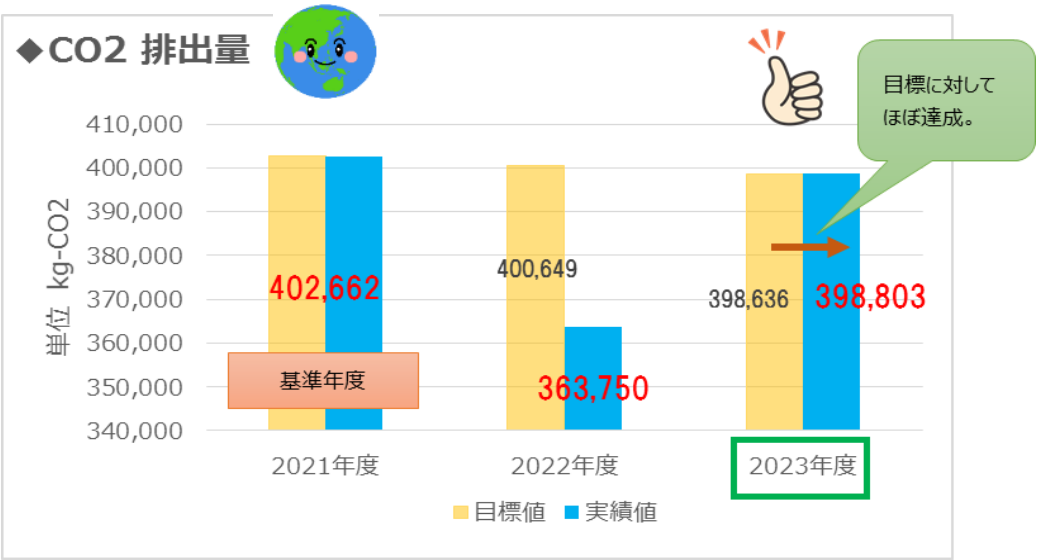
No.	環境目標	2021年度 実績値 基準年度	2023年度 目標値	2023年度 基準年度比	2023年度 実績	達成率	評価
3	**水使用量削減** 単位：㎥	330	327	△1.0%	417	78.4%	×
	評価と 次年度の取り組み内容	達成率で78.4%と大幅な未達でありました。 今年度も水道管からの漏水が7月に発覚し、前年度の同月と比較し20㎥の増加となるなど防げない事例や社員数の増加によって使用量も増えております。 次年度の取り組みとして、引き続き漏水を素早く発見する為、毎月の水道メーターの確認行います。 また節水表示の掲示活動、蛇口の開閉動作の意識付けに取り組みます。					

4	**生産効率向上による環境への効果**	・新たな開発や生産工程見直しによる時短に取り組み、電力消費量を抑制する。
	評価と 次年度の取り組み内容	加工課においては改善テーマはあったのだが、活動が進まず課題を残しております。他の事業部ではDRの実施により生産効率を上げることができ成果を上げております。 次年度は活動の進捗を月単位で見直し、遂行できるよう行って参ります。
5	**品質不具合削減による環境への効果**	・打合せ、段取りをしっかり行い、不具合削減に努める。 ・ロスを削減する事により、再製作時の電力消費量を抑制する。
	評価と 次年度の取り組み内容	今年度より加工課は品質チームを発足。クレームゼロ、不具合品ゼロを目指し取り組んで参りました。 不具合品の流出には効果を上げましたが、製作時の不具合発生は削減とは至らず課題を残しております。 船舶事業部においては行動自体は行えていましたが、発信、周知が足りなかったと厳しい評価を上げております。 次年度も引き続きの取り組み内容とし、こちらも進捗管理をしっかり行って参ります。

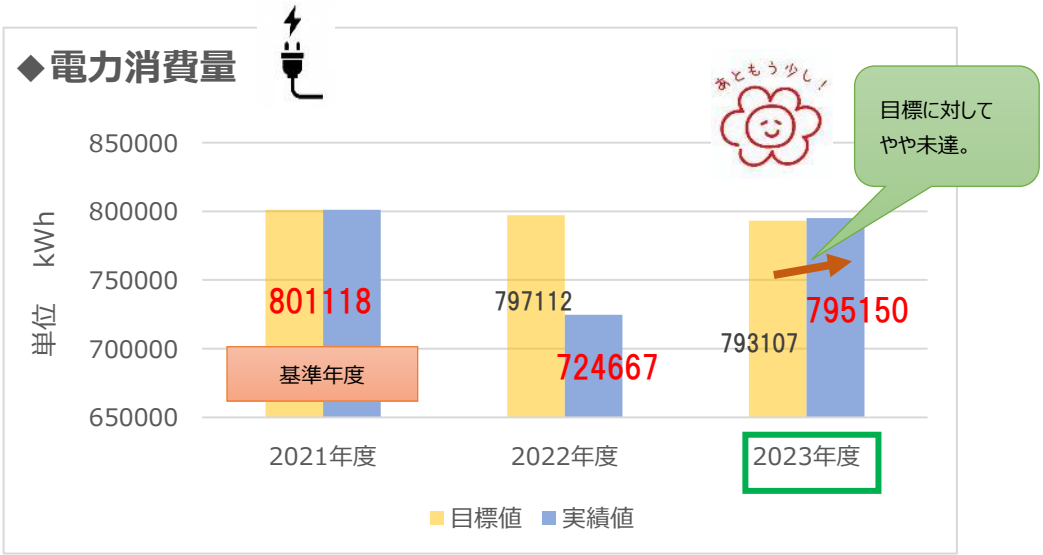
※　CO2排出係数は　九州電力2020年度　0.479kg-CO2/kWh　（調整後排出係数）

※　軽油とLPGについては使用量が少ないので目標に設定せず日常管理に努めて参りますが、CO2排出量の合計の項目には含めます。

7.　環境経営目標の実績と評価

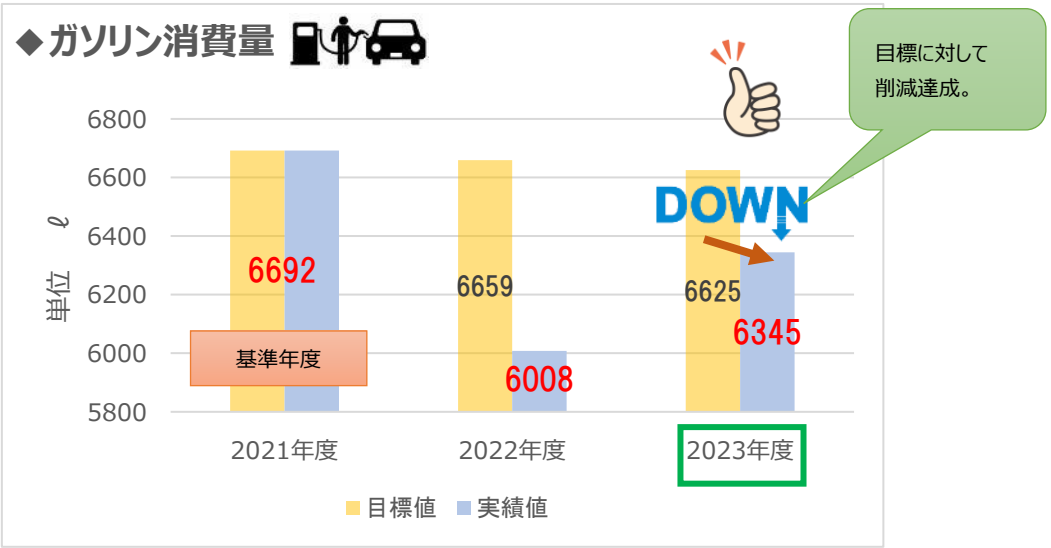


今年度は目標に対してほぼ達成の数値となっております。
当社のCO2排出量の約95%を電力が占めています。 排出量削減の大きなウェイトを占める電力量については削減努力を怠らないよう活動しております。

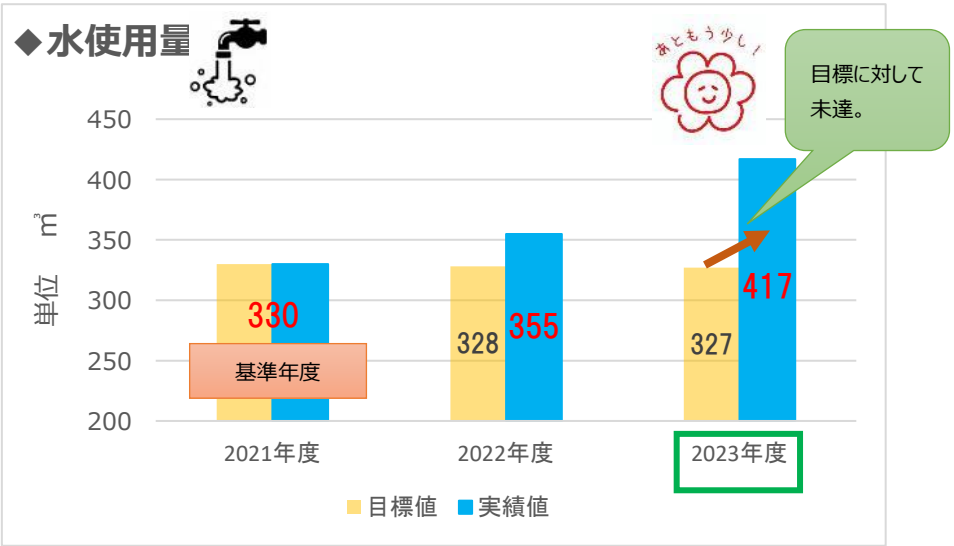


今年度は生産の増強の為、工作機械の増設及びクリーンルームの稼働を行った結果、電力量は目標値に対してやや未達の結果となりました。そこで電力使用量の内容を調べてみますと、今年度より稼働した設備の消費した電力を差し引くと実際は前年度より削減できていることが分かり、全員の節電への取り組みによって全使用量を微増に抑えることができておりました。
デマンド計の監視や設備・電器類の電源管理など、毎日の活動が実を結びました。

7.　環境経営目標の実績と評価



今年度はハイブリッド車への入れ替えを行っております。
その事にプラスして、燃費の表を作成して逐次の確認、エコドライブの方法の周知及び資料の掲示、タイヤの空気圧チェックの慣例化などを、積極的に行い良い結果となりました。



今年度は基準年度及び目標値に対しても、大幅な増加という結果でありました。
昨年度発生した漏水による使用量の増加した一件から、水道メーターを毎月チェックしていましたが、今年度も漏水が発生し発見した際は多量に漏水したあとでありました。
また、社員数が年度初めより増加したこともあり、使用量を抑えることに苦慮しております。

8.　環境関連法規などのとりまとめ及び遵守評価記録

・遵守すべき法規

法律名称	当社に適用される要求事項	確認時期	評価記録	適・否
廃棄物処理法	【産業廃棄物保管基準】 ・見やすい箇所に必要事項が記載された掲示板の設置 ・飛散、流出、地下浸透、悪臭の発散がない措置 ・ネズミ、蚊、ハエその他の害虫が発生しない措置	日常	現状監視	適
	【産業廃棄物委託基準】 ・知事の許可を受けた収集運搬業者かつ処理業者との3者間で契約 ・委託契約書の締結 ・契約終了後、5年間は契約書の保管 ・委託内容は許可範囲内で行い、書面に記載する。	毎年	委託契約書 許可証写し	適
	【マニフェスト】 ・すべての産業廃棄物にマニフェストを交付する。	日常	マニフェスト	適
	【マニフェスト】 ・A票、B2票、D票、E票を5年間保管	毎年	マニフェスト	適
	【マニフェスト】 ・90日以内にB2、D票、180日以内にE票の送付が無い場合は、業者に照会し、状況を30日以内に行政へ報告	月1回	産業廃棄物管理票未回収報告書	適
消防法	危険物の貯蔵、取扱い （指定数量以下）の規制遵守	日常	現状監視	適
フロン排出抑制法	エアコンの点検　業務用エアコン室外機 フロン式コンプレッサー	年４回	点検記録	適
~~劇物取締法~~	~~規制遵守~~ ~~①盗難紛失を防ぐ措置をとらなければならない。~~ ~~②飛散、漏れが無きよう措置、監視を行う。~~ ~~③盗難、紛失の場合は警察署に届け出る。~~			

使用していた薬品を劇物以外に変更したことにより該当無し。

・環境関連法規の遵守状況
　　法令違反はありませんでした。
・周辺からの苦情の有無
　　期間内、ありませんでした。
・関連機関からの行政指導
　　期間内、ありませんでした。

9.　代表者による全体の評価と見直し、指示の結果

・代表者への報告と代表者の評価とコメント

環境情報	所見	代表者の評価・コメント
①　環境関連法規等の遵守状況確認結果	遵守できていました。	法規遵守できています。
②　環境経営目標の達成状況	CO2排出量、ガソリン消費量、一般廃棄物、産業廃棄物は達成。、電力消費量、水については未達成となりました。	各目標とも積極的に取り組み、良い成果でありました。　特に電力消費量については、デマンド計を活用し設備稼働増の中、苦慮しながらも工夫で削減に繋げておりました。
③　環境経営計画の実施状況	今年度は設備の増設により電力量の増加が見込まれた中、各取り組みにより微増に抑えることができております。	推進委員を中心に活動する姿を見ております。　各項目ごとにやれた部分は継続し、出来なかった部分はしっかり対策し、次年度に繋げれることを期待しております。
④　問題点の是正、予防の状況	問題点はありませんでした。	特にありません。
⑤　外部からの苦情の有無及び対応結果	苦情はありませんでした。	苦情や問題は発生しておりません。
⑥　その他	特にありません。	特にありません。

・見直しの必要性判断と　代表者の指示

①環境経営方針	継続して行っていく。
②環境経営目標	生産増強に伴う設備の増設を行ったので、二酸化炭素排出量、電力消費量の2024年度の目標値については達成が難しい事を見込み、見直しを図るよう指示を出しました。
③環境経営計画	継続して行っていく。
④実施体制	継続して行っていく。
⑤その他の指示	継続して行っていく。

10.　中期環境経営目標の見直し

代表者からの指示を受け、2024年度の目標値の見直しを実施しました。　① 2024年3月　見直しの為改訂

各年度対象期間：期首4月　～　期末翌年3月末

取り組み年度

No.		環境目標	基準年度（2021年度実績値）	2022年度 目標値 / 基準年度比	2023年度 目標値 / 基準年度比	2024年度 目標値 / 基準年度比
1		二酸化炭素排出量削減 単位kg-CO2	402,662	400,649	398,636	402,662 ①
				△0.5%	△1.0%	0% ①
	1-1	電力消費量削減 単位：kWh	801,118	797,112	793,107	801,118 ①
				△0.5%	△1.0%	0% ①
	1-2	ガソリン消費量削減 単位：ℓ	6,692	6,659	6,625	6,592
				△0.5%	△1.0%	△1.5%
2	2-1	一般廃棄物排出量削減 単位：kg	1,080	1,069	1,058	1,048
				△1.0%	△2.0%	△3.0%
	2-2	産業廃棄物排出量削減 単位：kg	31,705	31,388	31,071	30,754
				△1.0%	△2.0%	△3.0%
3		水使用量削減 単位：㎥	330	328	327	325
				△0.5%	△1.0%	△1.5%

4	生産効率向上による環境への効果	・新たな開発や生産工程見直しによる時短に取り組み、電力消費量を抑制する。
5	品質不具合削減による環境への効果	・打合せ、段取りをしっかり行い、不具合削減に努める。 ・ロスを削減する事により、再製作時の電力消費量を抑制する。

※　CO2排出係数は　九州電力2020年度　0.479kg-CO2/kWh　（調整後排出係数）

※　軽油とLPGについては使用量が少ないので目標に設定せず日常管理に努めて参りますが、CO2排出量の合計の項目には含めます。

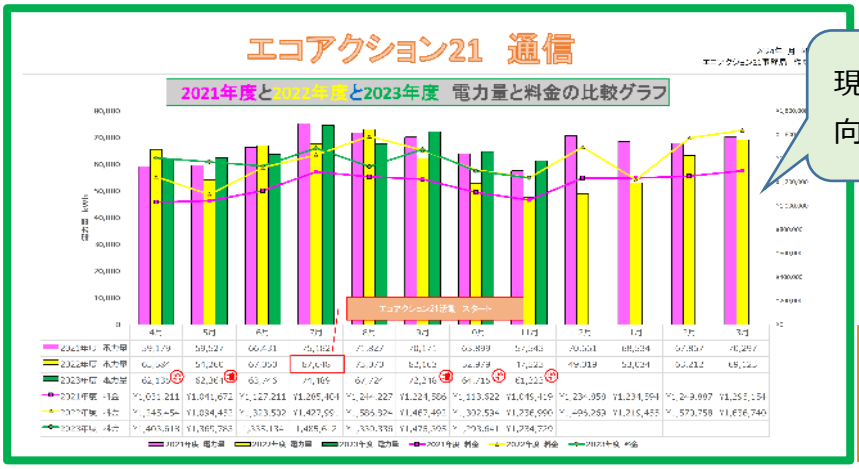
※①　2024年度二酸化炭素排出量及び電力消費量の目標値については、生産増強による設備高稼働を見込んでおり、2021年度と同値を目標とする。

11.　環境経営活動の取組

①　電力モニターの増設

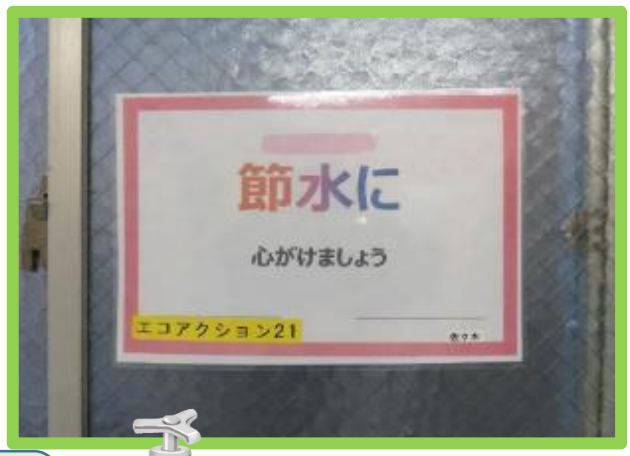
更に工作機械を設置している部屋へ増設を行いました。

②　エコアクション21　掲示物の作成、掲示



現状を掲示物でお知らせし、意識向上に効果を上げました。

③　節水呼びかけの為の表示作成、掲示



注意喚起を行うことで、使用量の削減やポタポタ漏れの防止に効果を上げました。

11. 環境経営活動の取組

④ リサイクルの促進

分別や再利用などであらためて物の大切さを認識。金属など分別に力を入れ資源として再利用できるように取り組みました。

⑤ エコカーの導入

ガソリン消費量削減の為、ハイブリッド車への入れ替えを行いました。
燃費に加え、CO_2排出量も従来車より削減でき、環境に優しい車に変わりました。

13 気候変動に具体的な対策を

⑥毎月水道メーターの監視

メーターの数値を毎月確認し、漏水などによる急激な増加が無いか監視を行いました。

水道メーター記録表　【場所：駐車場入り口】

記録開始日：2022/11/1

※小数点以下は省略

No.	記録日	記録者	メーター[㎥]	前月からの増量[㎥]	稼働日数	1日あたりの使用量[㎥]
1	2022/11/1	金丸部長	1247	—	20	
2	2022/12/1	尾形	1271	24	20	1.2
3	2023/1/5	佐内	1296	25	20	1.25
4	2023/2/2	尾形	1321	25	18	1.25
5	2023/3/1	佐内	1343	22	19	1.1
6	2023/4/1	尾形	1369	26	22	1.3
7	2023/5/8	佐内	1396	27	21	1.35
8	2023/6/1	尾形	1421	25	18	1.25
9	2023/7/4	佐内	1451	30	23	1.5
10	2023/8/1	尾形	1476	25	20	1.25
11	2023/9/1	佐内	1502	26	21	1.3
12	2023/10/2	平松	1530	28	21	1.4
13	2023/11/1	佐内	1560	30	21	1.5
14	2023/12/4	平松	1590	30	21	1.5
15	2024/1/5	佐内	1617	27	20	1.35
16	2024/2/1	平松	1644	27	19	1.35
17	2024/3/1	佐内	1671	27	21	1.35
18	2024/4/1	平松	1701	30	21	1.5

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

11.　環境経営活動の取組

・交通安全活動

全席シートベルト着用運動のぼりの設置。

交通安全！全席シートベルト着用運動に賛同します。

12.　緊急事態対応訓練（1）

・消防訓練　　2023年7月12日実施

TODAKA (ウルトラ)消防隊の消防訓練！　　2023.07.12

メンバー 顔合わせ

【訓 練 参 加 者】

防火管理者：ＳＷ部さん
消防団長　：ＷＡＡさん
船舶部隊員　：Ｏ形さん
船舶部隊員　：Ｕ田兄さん
船舶部隊員　：Ａ東さん
ＦＡ部隊員　：Ｏ本さん
ＦＡ部隊員　：Ｉ田さん
ＦＡ部隊員　：Ｕ田弟さん
ＦＡ部隊員　：Ｓ藤さん
加工部隊員　：Ｍ部さん
加工部隊員　：Ｕ坂さん
加工部隊員　：Ｓ川さん
加工部隊員　：Ｋ原さん
加工部隊員　：Ａ東さん
加工部隊員　：Ｓ本さん
現場観察管　：Ｋ丸さん
写真担当　　：Ｏ田さん・a坂

ポンプの運び出し

手伝いたいけど・・・狭いから・・・

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

12.　緊急事態対応訓練（2）

・交通安全講習　　2024年　1月16日　、　17日